報道関係者各位

資料提供：2020年10月23日(金)
送信元：六甲高山植物園

News Release

六甲高山植物園の冬支度
第47回「小便小僧のマント着せ行事」
11月3日（火・祝）開催！

六甲山観光株式会社（本社：神戸市　社長：宮西幸治　阪神電気鉄道株式会社100％出資）が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、11月3日（火・祝）に毎年恒例の「小便小僧のマント着せ行事」を行います。

園内の木々は10月中旬より色付き始め、11月3日には例年美しい紅葉の錦模様が見られます。**本格的な冬の寒さを迎える前に、六甲高山植物園のアイドル「小便小僧」に暖かいマントをまとわせる**この行事は、今回で47回目を迎え、毎年多くの方にお越しいただいている人気の行事です。

つきましては、是非六甲高山植物園にお越しいただき、季節の話題として「小便小僧のマント着せ行事」を貴社媒体でお取り上げ頂ければ幸いです。なお、読者・視聴者プレゼント用の招待券の提供も可能ですので、ご入り用の際はお申し付けください。

「小便小僧のマント着せ行事」

【日時】

11月3日（火・祝）　12：30～

※少雨決行、荒天中止

※新型コロナウイルス感染症防止の観点から、本年は一般のお客様向けのセレモニーとスープの振舞いは行いません。学生へのインタビューと撮影は可能です。

今年度のマントの制作原画（本部芽依さん）

【概要】

六甲高山植物園にある「小便小僧」は1962年に彫刻家の榎本健次郎氏がご子息をモデルに制作したものです。「小便小僧」が冬でも寒くないようにとマントを着せたのが始まりとなり、秋の恒例行事となりました。今年のマントは神戸芸術工科大学の学生が**「コマクサ」**をテーマにデザインしました。全23作品の中から一般のお客様による人気投票を実施し、その結果、本部芽依さんの作品が選ばれ今回の秋を彩るイベントのために制作いただくことになりました。

昨年度マント着せの様子

紅葉の見頃について

期間：10月中旬～11月中旬

当園では、カエデ類やブナ、カラマツ、シロモジ、ツツジ類といった様々な種類の紅葉が楽しめます。チングルマなどの高山植物の紅葉を見ることができるのも六甲高山植物園ならでは。黄、橙、赤に色づく錦絵のような景色をご覧いただけます。また、紅葉の見頃に合わせ色づいた木々をライトアップする「夜の紅葉散策」も開催中です。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園　広報担当：糟谷（E-mail：k-kasuya@rokkosan.com　携 帯：080－1520－6004）
TEL：078－891－1247／FAX：078－891－0137／〒657－0101神戸市灘区六甲山町北六甲4512－150

◆営業概要

【入 園 料】大人（中学生以上）700円　／　小人（4歳～小学生）350円
【開園期間】～11月23日（月・祝）
【開園時間】10：00～17：00（16：30受付終了）※「夜の紅葉散策」実施時は延長営業あり。